

藤岡市 議会だより

発行日 平成13年2月1日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会編集委員会 印刷 三和印刷株式会社
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第13号



平成13年1月20日開催された「2001年みらい藤岡子ども議会」

12月定例会の
あ
ら
ま
し

定例会は、12月8日から12月19日までの12日間の会期で開催されました。

中央省庁等改革関連法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなど16議案が提出されました。

8日〓本会議 会期の決定、議案16件を上程、うち15議案を即決。
11日〓総務常任委員会・建設常任委員会。

12日〓教務厚生常任委員会。

14日〓本会議 一般質問。

15日〓本会議 一般質問。

19日〓本会議 委員会付託・市長提出追加議案4件を可決。議員提出議案1件を即決。

一般質問

ららん藤岡に

ついで

冬木 一俊

問 たらん藤岡の入場者数が11月21日でオープン以来、100万人を達成したが、運営状況を伺いたい。

答 農産物直売所や観光物産館は大変盛況であり売り上げも順調で、高速バスの利用者も月ごとに出し総体的には順調な滑り出しであるが、高速道路からの利用者・花の交流館の有料入場者数が低迷している。

問 花の交流館の施設は無料化を図り、シンビジウム等花の販売を交流館で行ない、市民や利用者大いに喜ばれ、活用される施設にすべきではないかと思うが伺いたい。

答 選択肢として入場料の減額・入場者に記念品の贈呈・

入場料の無料化等の中から、利用者需要と共に施設の有効活用の視点から、最も良い方法を考慮し又検討をいたしまして、本年4月1日を改正の時期に、していきたいと思えます。

分別収集の現状と

課題について

坂本 忠幸

問 無尽蔵ではない資源の今後のありかたの為に当市ではさらなるごみの資源化、リサイクルを目指し、10月よりペットボトル、白色トレイなどの分別収集が始まりましたが現状と問題点についてお伺いします。

答 10月から開始しましたペットボトル、白色トレイ、紙パックの分別収集につきましては地域の役員さんのご理解とご協力により順調に進められております。この2か月の回収実績はペットボトル15・21トン、白色トレイ1・55トン、紙パック1・75トンで収集計画量を上回る量です。まだまだ違反ごみも多く

理解をいただけない方もいるので、これからも啓発や周知徹底を進める必要があると思えます。

生ごみ処理機の

補助について

坂本 忠幸

問 生ごみを堆肥化して土に戻す方法として、生ごみ処理容器コンポストの補助事業を実施しており、2分の1の補助率で3000円ですが電動式のものも同様か伺います。

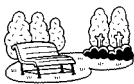
答 現在は電動式のものは一世代一基で6000円に変更して対応しています。

問 電動式のもは夏でも臭いが少なく便利とのことですが一般のものとは比べかなり高額になるそうです。電動式の補助が他市町村の状況をお伺いします。

答 金額的には2万円補助が30団体、3万円が4団体、5万円と2万5000円がそれぞれ2団体、1万5000円と6000円と5000円が1団体ずつで合計41団体です。

問 他市町村の状況はわかりました。生ごみを土に還元し堆肥化を図り地球に優しい社会への一歩として電動式への補助限度額の引き上げをすべきと考えますが、この点についてお伺いします。

答 ご質問のとおり電動式のものに対しての補助額を上げて頂きたい旨の要望が市民の検討の結果2分の1補助で2万円を上限に来年度より算に計上させていただきます。



公共事業と

住民サービスについて

三好 徹明

問 花の交流館6月、7月、8月、9月、10月、11月まで半年間の1日平均有料入場者数と、1日当たりの平均入場料について伺います。

答 1日当たり有料入場者数は1日平均18人。平均入場

料は1日当たり8480円でした。花の交流館の利用方法につきましては料金を含め、検討をしなければならぬ課題があることを認識しております。

問 平成11年6月議会で質問した日本経済新聞社全国都市番付結果(全国610市区の中で藤岡市は605番目だった。群馬県最下位)に対し「第三者による行政評価として収集・分析、検討して結果を報告します」と答えられていますが、2000年度日本経済新聞社発表の番付に藤岡市は回答しておりません。また1年6か月以上経た今日まで報告は受けておりません。結果を報告してください。

答 このような調査はいたずらに市民に誤解と不信を与えかねないとの判断から、今後このような調査には原則として回答しないこといたしました。

問 住宅建設に伴う水道本管取り出し後の公道本復旧費の前払い個人負担は、一軒当たり平均5万数千円になります。それぞれが長期的住宅ローンなど借入れを起こして

苦勞して建てた人がほとんどと思われず、完成入居後数年を経過しているにも係わらず、新築住宅前の公道の本復旧が完了していない箇所を少なからず見かける。平成10年度は取り出し件数162件で金額にして約873万円になります。これらは適切に処理されているの伺います。

〔答〕 取り出し仮復旧後1年後をめどに本復旧が義務づけられているが、道路状況、沈下期間もまちまちなので、期間に関係なく状況を見ながら実施しております。

学校教育について

金子 勝治

〔問〕 ①俳句は語感や語彙あるいは感性を育てる。地方紙ジュニア俳壇に東中の生徒の名が数多く見られるが、今後の方針について。②中学校の和楽器教育が、平成14年度から始まるが、その移行措置の取り組みについて。③高校生の結核感染、小学校では蛍光灯のPCB等、健康への問題

に対し、児童生徒や教職員の健康管理・健康教育についての対応を伺いたい。

〔答〕 ①各学校で作文や読書感想文、あるいは少年の主張、相撲等で感性や特色を発揮している。②和楽器教育は平井小が和太鼓、南中は三味線を練習。小野小は文楽鑑賞と、伝統芸能に触れる学習の達成に努力している。③PCB照明器具は4校に使用されている様で、今年度中に対応したい。児童生徒の健康検査は、県の実施要綱により実施し、栄養士等が食生活指導を行い、教職員には規則に従って、健康管理を行っている。



子ども読書年について

斉藤 千枝子

〔問〕 「みんなでもやる、毎日やる、好きな本でよい、ただ

読むだけ」との朝の10分間読書運動は様々な面で効果が上がっているとの事ですが、市内で実施している学校はあるの伺います。

〔答〕 小学校では曜日を決めて週2回読書をしている学校が3校、週一回が5校、中学校では3校が読書週間や月間を設けその期間毎日行っています。

〔問〕 子供は一人では本の楽しさを知ることはできず、大人が手を貸してあげる必要があり乳幼児期から家庭での読み聞かせが重要といわれている。親子の信頼関係を強くし、乳児に読み聞かせの際注意を向けさせる為コミュニケーションの基礎を養い、子供の聞き耳を育てるともいわれている。乳児検診時に、図書利用カード、読み聞かせアドバイザー、説明付紹介絵本の小冊子をセットし手渡すことはできないか伺います。

〔答〕 図書館利用カードは小学校入学時にプレゼントしており、歯磨き子供教室でパンフレット等渡し指導しております。図書館には児童・

乳児コーナーを設置し、又図書館、児童館ではボランティアグループにより読み聞かせを行っており子供達が楽しんでおります。今後も関係機関と協力し読書人口の拡大に努力をしていきたい。

児童虐待について

斉藤 千枝子

〔問〕 児童虐待は家庭という密室でおこる悲劇であり、これ以上不幸なことはありません。未然防止、早期発見、救済の為、保健、医療、福祉、教育、地域の関係機関との協議会等設置のお考えはないか伺います。

〔答〕 現実的で機能的なフォロー体制の構築が必要である。相談体制の充実を図ると共に、市内関係部課、市内関係機関、子育て中の親等で構成する、仮称藤岡市子育てフォーラムを発足させ、虐待を含む子供の問題に積極的に対応すると共に、社会的ケアシステムの構築に向け努めてまいります。

藤岡市の学校教育について

笠原 史嗣

〔問〕 中高一貫教育についての藤岡市の現状の連携はどうなっているのか。又、藤岡市では今後、関係団体や市民を巻き込んだ21世紀教育検討委員会の設置をすることは考えているか伺います。

〔答〕 本市では連携型の一貫教育が考えられるところで、現在は、進路指導とオープンスクールとの連携交渉をしています。今後は郷土の学校として教員と生徒間交流の連携に向けて取り組んでいきたいと思えます。又、検討委員会への設置については教育委員会とも相談をして教育環境をどうしたらいいか条件整備をきちっとしていかなければいけないと考え教育長を中心に検討を進めていきたいと思えます。



水道石綿管更新事業

について

佐藤 淳

問 更新期間と、総事業費について伺います。

答 平成13年度より10か年総事業費は75億円を予定しております。

問 一般会計からの出資金について伺います。

答 基本的に、出資債の認められる範囲で対応してまいります。

問 平成11年度末で9億5000万円の内部留保資金の今後の推移について伺います。

答 平成16年度で底をつくるのが予想されます。

問 料金の値上げをせざるを得ない状況に平成16年度にはなるが、料金の値上げについては私は、反対であります。この点について伺います。

答 適正な料金改正あるいは、一般会計からの長期貸し付けや、出資金が考えられます。

問 2か月間の平均使用量45cc当たりの他市の料金を伺います。

答 太田4179円、渋川4220円、伊勢崎4770円、前橋5057円、高崎5226円、安中5250円、沼田5430円、桐生5610円、富岡5642円、館林6140円、藤岡6360円

障害者によさごと まちづくりプロジェクト

針谷 賢一

問 高齢者や障害者の車いす利用者は、入院・退院や冠婚葬祭等で、また重度の障害者を抱えている家庭から、たまには外出や旅行もさせたいが、高価な介護車両を購入するのでも大変である為、市では障害者用改造自動車の貸し出しを行う予定や、藤岡市障害者用マップを作成する考えはあるのか伺いたい。

答 現在改造自動車の貸し出しにつきましては検討中です。平成12年度は介護車両の補助事業を新規事業として実施をし、貸し出し事業及び本市の障害者用マップ作成についても早急に実施したい考えがあります。

北藤岡駅周辺 土地区画整理事業について

針谷 賢一

問 第3設計区仮換地の供覧はいつ頃予定しているのかまた仮住宅建設の考えはあるのかどとが、それと本市の区画整理事業に投入する予算は他市と比べてどうなのか伺いたい。

答 第3設計区は面積が約27haあり広大な為、作成に時間を要するので平成13年5月頃を予定しています。また仮設住宅については事業を進める上に必要と考えますので出来る限り早い時期に建設したい。市の区画整理事業への予算投入について他市と比べますと、平成11年度について申します。

太田市約17億6000万円・伊勢崎市約13億3000万円・館林市約6億3000万円・渋川市約7億7000万円・沼田市約4億5000万円です。本市に於いては平成10年度約6000万円、平成11年度約1億9000万円です。本市は他市に比べると

極めて少ない事業への投入予算であります。今後の事業展開を見定めた場合の予算についての考えを伺いたい。

答 平成13年度予算については現在財政サイドと調整をしている所です。区画整理事業につきましては、今後市としても投入予算を増して行く考えです。

補助金について

茂木 光雄

問 補助金の審査過程、判定基準について伺いたい。

答 定期監査は地方自治法第199条第1項の監査第4項の規定に基づき実施。補助金の名称、交付先、補助対象事業費、歳出根拠、交付決定額、支出済額、財源内訳、実施報告年月日、要綱の有無等事前審査。各課の説明当日に關係書類の提出を求め質疑且定期監査報告書、議会及び市長並びに委員会に提出し公表。決算審査は補助金及び交付金調査。補助金の使途、事業の

達成度については担当課において検査、確認を履行。

問 補助金の適正且効果的交付実施の為の交付基準、審査判定基準の導入。更に審査への公平な立場にある第三者の参加等の改革を行う必要があると思うが伺いたい。

答 先進地の状況等を調査研究し、今後検討していきたい。

新規事業の 立ち上げについて

青 正敏

問 都市建設部においてはプール建設事業で議会側と意見交換会を設けたが、他の部局においても高額な予算を必要とする事業については議会側と意見交換会を持つ用意があるか伺います。プール建設において庁内関係部所との連携はどの様になっているのか伺います。

答 議員説明会だけでなくその時々々の事案により議会側と意見交換会を持って行った。市民プール建設では関係

課長で建設調査委員会を設置し協議を重ねている。運用計画については、管理計画で市直営管理と管理公社委託があるが事故等を考慮した場合に職員配置も必要と思う。運営計画では市民民間業者委託及び専門業者委託について検討中である。ソフト面については各種教室の開催、健康情報啓発、市民周知等現在検討中である。

遊休農地の利用状況について

松本 啓太郎

問 遊休農地はどのくらいあるか伺います。

答 平成10年の調査では約200haです。

問 農業委員会のあつせんによる貸借、農協を介しての貸借はどれくらいあるか伺います。

答 平成11年で農業委員会のあつせんは約16a、農協を介しては約15・5aとなっています。

問 貸借の奨励制度はどうなっているか、又遊休農地解

消のために請負組合の現状はどうなっているか伺います。

答 昭和57年から奨励金交付事業を実施しています。交付基準に基づき、現在、貸借の期間により10a当り5000円から2万円の奨励金を交付しています。平成11年から再設定した場合には60%の金額が交付されるようになりました。請負組合として活動している組織は、市では把握していません。遊休農地が今後増大することが予想されるため請負組合組織等が必要になると考えております。

藤岡市農業の現状について

松本 啓太郎

問 本市の主産畜産物の輸入が激増しており価格が低迷しております。対応策として農家負担の軽減を計るような政策を取って下さい。そうすることによって後継者が育ち自給率の向上につながると思います。

答 藤岡市の21世紀に向けた農業政策は、食料農業農村

基本法に基づいた農業の展開をします。食料自給率の向上と価格の安定化については、水田農業確立対策事業の中で麦、大豆等の自給率の低い作物を強化しています。また、藤岡市議会より6月議会終了後に、一般セーフティボードの発動要請を国にしております。藤岡市としても特に、トマト、生シイタケ等については、生産者の立場になり関係機関に強く働きかけをしていきたいと考えています。さらに、生産調整でも来年度については緊急拡大の追加分もあります

が、減反率を上げないよう考えていると共に、この厳しい農業行政の中で特に、認定農業者及び専業農業者には、積極的な支援をしていく考えであります。

借同苑の現状について

片山 喜博

問 将来構想について伺います。

答 借同苑は昭和51年に完成し、供用開始から25年を経

過し、現在、借同苑を使用している藤岡市及び多野郡町村の人口及び死亡者推計調査を実施した結果では、人口は2012年に8万8664人、死亡者数字は2037年に1222人に達すると予測されており、現在の施設利用状況から、2020年には1日最大火葬件数は11件と想定され、現在の1日最大火葬件数の2倍となります。火葬施設は日々需要があり、その機能が一時にも低下することがあれば、市民及び周辺村民に多大なる影響を与えることとなります。その影響を考えると、運営に支障が生ずる前に計画的に事業を推進していくことが必要であると思えます。借同苑の利用状況は3分の1が藤岡市以外の多野郡の町村であることから、今後の施設建設につきましても藤岡市単独によるものではなく、広域圏における整備推進が必要だと思っております。

問 周辺道路整備について伺います。

答 早急に取り組む必要があると考えております。借同苑西側道路整備が理想かと思

われません。今後、関係各課と協議を進め、検討し、前向きに対応していきたい。

ごみの分別について

片山 喜博

問 ごみ袋の値下げについて伺います。

答 平成8年4月に可燃袋を4円値下げし、20円を16円に、不燃袋を5円値下げし、25円を20円に、平成11年7月の変更で可燃袋を2円値上げし18円に、不燃袋を2円値下げし18円に、値下げして同じく18円にさせていただきます。市民の皆さんに負担の少ないようになっています。市民の皆さんに負担の少ないようになっています。今後も検討を重ね、関係機関と協議をし、できるだけ早い時期に値下げをするための対応をしていきたいと思っております。ご理解をいただきたいと思います。



議 案 等 審 議 結 果 (12月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
報告13号	専決処分承認を求めることについて(群馬県市町村総合事務組合規約の一部改正)	承認(全員一致)
第 67号	教育委員会委員の任命について	同意(全員一致)
第 68号	藤岡市職員の再任用に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 69号	藤岡市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 70号	中央省庁等改革関連法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
第 71号	藤岡市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 72号	土地の取得について	可決(全員一致)
第 73号	市道路線の廃止について	可決(多数)
第 74号	市道路線の認定について	可決(多数)
第 75号	損害賠償の額を定めることについて	可決(全員一致)
第 76号	平成12年度藤岡市一般会計補正予算(第2号)	可決(多数)
第 77号	平成12年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 78号	平成12年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 79号	平成12年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 80号	平成12年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 81号	平成12年度藤岡市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 82号	平成12年度藤岡市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(多数)
第 83号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 84号	藤岡市長・助役及び収入役の諸給与条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 85号	藤岡市教育委員会教育長の諸給与支給条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 86号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(全員一致)
議員提出議案		
第 3号	「青少年健全育成のための法律」制定を求める意見書の提出について	可決(全員一致)
選 挙		
第 4号	副議長の選挙	当選
陳 情		
第 8号	国民本位の公共事業の推進と執行体制の拡充を求める陳情	不採択(全員一致)
第 11号	「青少年健全育成のための法律」制定を求める意見書提出についての陳情	採択(全員一致)
第 12号	保育園舎老朽化に伴う改築についての陳情	趣旨採択(全員一致)

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎②1211内線361)へ

委員	副委員	委員
長	長	長
三	三	三
佐	佐	佐
垣	垣	垣
原	原	原
吉	吉	吉
藤	藤	藤
三	三	三
好	好	好
勝	勝	勝
徹	徹	徹
明	明	明
三	三	三

21世紀の新春を厳肅な気持ちでお迎えになられましたことと存じます。

昨年20世紀最後の12月議会も12名より一般質問が行われ、活気ある議会となりました。新世紀を迎え気持ちも新たに、公明正大、公平無私を信条として、議員一同住み良い藤岡市を目指します。

編
集
後
記